3年道徳学習指導案

１　主題名　信頼・友情　　２－（３）

２　ねらい　うわべの同調者を友だちと錯覚して、友だちさがしに翻弄されるよりも、自分自身を深く見つめ、友情を大切にしようとする心情を養う。

３　資料名　「友情」

（出典：日本標準「みんなで生き方を考える道徳」）

４　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 主な発問と予想される生徒の反応 | 留意点 |
| 導入  ５分 | １．自分にとって「友だち」とは、どういうものかを話し合う。 | ○あなたにとって「友だち」とはどういうものですか。  ・話し相手（相談相手）　　・遊び仲間  ・メール相手　　・大切なもの  ・楽しい　　・いないと困る | グループで自由に意見を出させる。  人によって考え方も様々であり、友だちの定義も様々であることを確認する。 |
| 展開  35分 | ２．資料を読む。  ３．「孤独」について、自分たちのイメージと資料の両方から考える。  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ４．「友だちが必要かどうか」について考える。 | 【確認】「孤独」について、自分たちが持っているイメージは何ですか。  ・さみしい　　・一人ぼっち  ・暗い　　・つらい　　・ひま  ・仲間はずれ　　・  【確認】資料の中での「孤独」とはどういうものですか。  ・自分を考え直す（時間）  ・自分を見つめる（時間）  ・自分との対話（の時間）  ・自分と語り合う（時間）  【中心発問】「いなければいないでいい、見つかるまでは一人でいい」という著者の意見について、どう思いますか。  ・そう思う　・一人で考えることも必要  ・一人の方がいい  ・思わない　・友だちがいる方がいい  ・友だちがいないと不安（さみしい）  ・わからない　・決められない  【発問１】どんな「友だち」を大切にしたいと思いますか。 | 自分たちの言葉で自由に出させる。  ・  ・  ・  意見がない場合には、資料の範囲を指定したり、「○○時間」と続くように答えさせたりする。  ・  ・  ・  ・  理由も合わせて考えるように指示する。  どの意見も肯定的に受け止める。  時間があれば、数名に発表してもらう。 |
| 終末  10分 | ５．自分たちの生活に振りかえって考える。 | 【発問２】その「友だち」にとって自分はどんな「友だち」であるべきだと思いますか。 |  |

「友情」

3年　　組　　番　名前

「いなければいないでいい、見つかるまでは一人でいい」

という意見について、どう思いますか。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ↓どちらか1つに○を記入 | | ＜理由＞ |
|  | 思う |  |
|  | 思わない |  |
|  | わからない、  決められない |  |

|  |  |
| --- | --- |
| C:\Users\User\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\C09PH30N\MC900441946[1].wmfどんな「友だち」を  大切にしたいですか。 | 自分はどんな「友だち」に  なるべきだと思いますか。 |
|  |  |

板書計画

「いなければいないでいい、

見つかるまでは一人でいい」

孤独

（イメージ）

「友だち」とは…

友　情

孤独

（資料）